

第5回 地区別懇談会【左岸地区】

日時：令和3年9月18日（土）18:30～

場所：西瀬小学校体育館

次第

1. 開会挨拶
2. 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
 - (1) 地区別懇談会の振り返りと情報提供 【資料1】 【資料2】 【資料3】
 - (2) 球磨川左岸地区 復興まちづくり計画（案）について【資料4】
3. 地区ごとの話し合い
 - (1) 復興まちづくりの具体的なイメージや手法案について

○取組み方針、具体的取組み、イメージの更新案について、不足する視点や抜けている取組はありませんか？

○高台の安全な避難場所やそこにアクセスする避難路の必要性について、再確認しましょう。

○復興まちづくりの目標を共有しましょう。

- (2) 今後の進め方、次回以降について

4. 全体共有
5. その他
6. 閉会挨拶

【資料】

- ・資料1：地区別懇談会だより第3号
- ・資料2：地区別懇談会中間報告会まとめ
- ・資料3：人吉市復興まちづくり 進め方と本日の内容について
- ・資料4：球磨川左岸地区 復興まちづくり計画（案）

【球磨川左岸地区】『復興まちづくり計画（たたき台）』について②

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくりのイメージ(案)です。具体的な取り組み内容は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。
黄色網掛け箇所が第4回地区別懇談会の参加者の主な意見です（決まった内容や事実確認をした内容ではありません）。

球磨川左岸地区 復興まちづくりのイメージ(更新案)

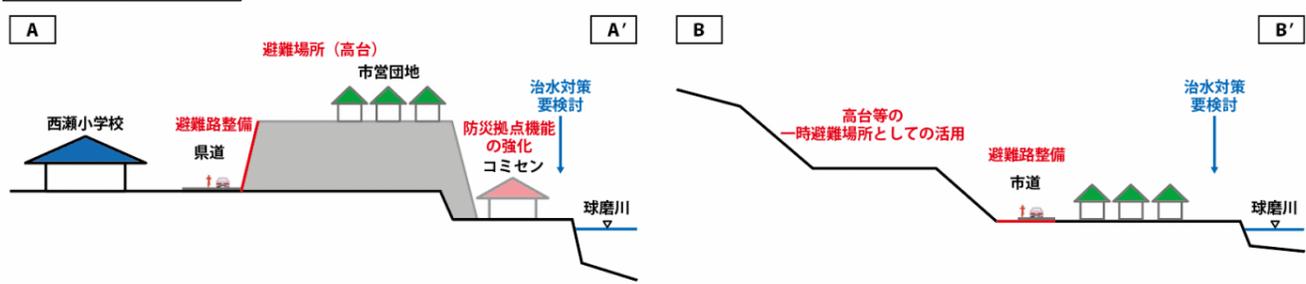
- この辺り（約30m区間）が通れず孤立するため、早急に改善してほしい。
- 球磨川に流れ出る側溝が、堤防ができた頃は流れていたが、今はスムーズに流れていない様子。
- 車が身動きが取れなくなった箇所。
- 今年の7/10も排水できず水が溢れた。
- 土砂が溜まり水が流れないため、早い段階で浸かる。
- 側溝がどこにつながっているかはっきりわからない。



・矢黒の採石場や永野川のフットパス入口付近、矢黒の切り通し付近に水が流れ込む。沿道の竹が道路に倒れ込み、消防が出勤するのに避けないといけない。→太い側溝を作るなどしないと、水はけけないのでは。地主にも相談が必要。

計画(案)	避難場所・避難所	土砂災害の危険区域	浸水想定区域
→ 避難路	● 指定緊急避難場所	■ 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	■ 想定最大規模(L2)
→→ 避難路※	● 指定避難所	■ 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)	■ その他
○ 避難場所、避難所	○ 自主避難所	■ 地すべり調査予定	■ 農用地区域
○ 避難場所、避難所※	○ 福祉避難所	■ 急傾斜地調査予定	
○ 安全な避難場所		■ 土石流調査予定	
※要整備			

断面イメージ図



◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869
E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

地区別懇談会だより

Vol.3

球磨川左岸地区

～みんなで取り組む、人吉市の復興まちづくり～

『地区別懇談会（第4回）』を開催しました

甚大な被害や治水対策による影響が大きいなど、地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を「重点地区」として位置づけ、それぞれの地区ごとに「地区別懇談会」で話し合いを進めています。
球磨川左岸地区の**対象地区は、西間下町、矢黒町、下戸越町**です。

◆第4回地区別懇談会

- 治水対策に関する国・県からの説明
- 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
 - 地区別懇談会の振り返りと情報提供
 - 懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向案（修正案）について
- 地区ごとの話し合いと全体共有
 - 復興まちづくりの具体的な取り組み方向案について
- 今後の進め方について



7月28日（水）18時半から、西瀬小学校体育館で開催しました。（参加人数：27名 ※薩摩瀬地区と合同開催）

復興まちづくり計画の策定に向けて

地区別懇談会での検討をもとに、10月頃を目途に具体的な復興まちづくりの取組をまとめた「復興まちづくり計画」を策定します。

◆地区別懇談会の参加方法

- 対象地区にお住まいの方や勤務されている方など、どなたでも参加できます。
- ※可能な範囲で、継続的な話し合いに参加いただけます。
- 参加申込は随時受け付けておりますので、本紙面末尾の復興支援課までお問合せください。多くの方のご参加をお待ちしております。

参加募集

◆地区別懇談会の進め方

次回の開催予定：**第5回 9月18日（土）18時30分より**
 次回のテーマ予定：**復興まちづくり計画（素案）について**
会場：西瀬小学校体育館
 （注）地区別懇談会については、新型コロナウイルス感染症の状況等で、変更する場合があります。

◇復興まちづくり計画とは

- 復興計画を実現するために取り組むべき内容を示すものです。
- 特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の具体的な計画づくりを行います。
- 住民主役の計画づくりに対して、行政が支援し、計画策定をめざします。
- 計画期間は、令和4～9年度の概ね6年間。（令和3年度からの一部実施も想定）
- 本計画に基づき、関係者調整含めた精査や具体化検討を進め、段階的な実現をめざします。

【球磨川左岸地区】これまでの地区別懇談会意見を踏まえた『復興まちづくり計画（たたき台）』について①

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(たたき台)です。具体的取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。黄色網掛け箇所が第4回地区別懇談会の参加者の主な意見です(決まった内容や事実確認をした内容ではありません)。

左岸地区は、球磨川と支流、急傾斜地に挟まれており、浸水と土砂災害の危険性があるため、「早めの避難」の徹底や「安全な避難」を実現するために必要となる取組を中心に検討を進めています。

取組みの柱	地区の主な課題 (地区の復興まちづくりに向けた主な課題)	取組み方針 (課題解決のための取組み方針)	具体的取組み(案) ※実現化に向け、今後検討が必要
①被災者のくらし再建とコミュニティの再生	<p>各戸の安全性の向上</p> <p>普段は町内活動に消極的だが、懇談会に参加したことで町内の取組みを知れて良かった。</p>	<p>安全性を高める建て方の誘導</p>	<p>安全性を高める建て方の誘導(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物1階のピロティ化、浸水深以上の居室の確保。 建物構造の耐水化。・住宅再建に係る各種スキームの説明会の開催。
②災害に負けないまちづくり【避難対策】	<p>安全な避難ルートの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害や浸水の危険性がある道路が多く、道幅も狭いため避難路が脆弱。 矢黒の集落内の道が低く、早い時間帯に浸水して通行できなくなるため、孤立化しやすい。避難所(西瀬小学校)、自主避難所(矢黒公民館)や避難場所になる高台(ま心周辺)へ行くルートが浸水しやすい。 消防団(第4分団第2部)の出動ルートに水が流れ込みやすく、沿道の竹などが倒れ込んだ場合は出動前に作業が必要。 <p>近所の避難体制の構築(「近助」)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団や町内会役員には人手やできることにも限りがあり、隣近所での助け合いの体制強化が必要。 デジタルツールを使えない方への支援体制強化。 避難行動要支援者名簿の効果的な活用。 <p>矢黒町からは西瀬小学校へ避難しにくいので矢黒公民館避難が一番避難しやすい。5月の避難訓練では、公民館まで歩いて何分かかるかを確認した。今年7月の避難指示の際は、球磨川の増水より山の土砂崩れの危険性に留意し、矢黒公民館を開放し、少林寺拳法付近の方々に避難を呼びかけた。10軒中4軒の方が避難され、一晩泊まれた。石庭の館付近の方々は孤立する可能性があるため、いつも早めに避難されるよう呼び掛けている。(矢黒町)</p>	<p>安全な避難路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害の危険区域や浸水しやすい箇所及び避難先(場所、キャパシティ等)、救助活動のしやすさ等を踏まえた避難路の整備を行う。 <p>「早めの避難」の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難できる道や方法がある時間帯の「早めの避難」を徹底する。 <p>災害の危険性を認識するための情報入手手段を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> 油断を防ぐため、平時から地域の災害リスクを知り、降雨時には周辺の状況や避難に関する情報などを入手することができる手段を用意する。 情報の入手・共有に当たっては、デジタルツールの活用他、高齢者等への情報共有に配慮する。 <p>避難体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 班などの小さな単位で避難する体制づくりや、町内会・自主防災組織・消防団との連絡体制の構築を行う。 <p>5月の避難訓練では、町内会長が要配慮者の避難支援の割り振りを行ったため、誰が誰を見守るかがはっきりし、わかりやすかった。今後は、名簿を各班長に渡し、各班で割り振りができるようにする。消防団や災害対策本部との連絡を取りながら対応できる組織づくりを進めていきたい。(矢黒町)</p>	<p>地区内の主要な避難路の拡幅整備</p> <p>堤防道路の避難路としての整備(ガードレールの設置)</p> <p>主要な避難路沿道の土地所有者への管理依頼</p> <p>流域治水プロジェクトの進捗に合わせたハザードマップ(浸水想定エリア)の作製・公開</p> <p>流域治水プロジェクトの進捗状況に合わせた浸水想定エリアを出水期前に住民に公表することはできないか?</p> <p>地域性を踏まえた防災マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ハザードマップだけでは読み取れない危険性も含めた地域が主体となった防災マップの作成。 避難の必要性を判断する地域独自の「小さなきっかけ(避難スイッチ)」等も掲載する。 <p>地域内への実績浸水深の表示</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年の痕跡水位を電柱等に掲示 <p>情報発信機能の強化(避難情報、支流の出水状況など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各世帯への防災ラジオの配布(市より、令和3年6月から順次配布)。 支流の出水状況をきめ細かく情報発信する機能の強化。 →土砂詰まりやすく、浸水しやすい地点への浸水検知センサの設置(周辺住民へ情報共有できるシステム)。 →胸川上流へのライブカメラの設置。今は胸川の下流にしかカメラがない <p>避難支援体制の具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> 要支援者の支援体制の分担と、分担に基づく訓練の実施。 <p>避難支援ツールの配備</p> <p>(例)防災リヤカー(西間下町)</p> <p>避難訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に起こり得る状況を想定した、効果的な避難訓練の実施。
②災害に負けないまちづくり【避難対策】(避難場所・避難所)	<p>緊急時に避難ができる場所の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定緊急避難場所まで行けない場合や緊急に避難を要する場合などに、命を守る避難場所が必要。 避難場所、避難所のキャパシティや移動を踏まえた避難が必要。 <p>ペットの同行避難への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所へのペットの同行避難の希望について、対応を検討しておく必要がある。 	<p>複数の避難場所の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定緊急避難場所の他、民間の施設や私有地も含め、水害時の一時避難が可能な避難場所を複数確保する。 <p>避難所または自主避難所の運営方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ペットの同行避難の他、避難や避難生活に関する地域のニーズに備え、事前の検討を行う。 車での避難ができる場所(駐車場)の確保も必要。 避難先が一箇所に集中しないよう、分散させる工夫も必要。 ※避難方法の具体化(時期、ルート、場所、運営面) 	<p>安全な避難場所の確保</p> <p>(案)【西間下町】西間下町公民館、新市庁舎、県振興局等 【矢黒町】矢黒町公民館、ま心周辺の高台、蓬菜配水地付近等 【下戸越町】西瀬団地、三日原団地等 ※避難する時間帯やルート、移動手段等を考慮して判断する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定の避難所以外で垂直避難できそうな施設の管理者へ相談。 隣接する町同士で連携する避難体制の構築。・ペットの同行避難の対応 <p>避難場所となる防災拠点の整備(西瀬コミセン、新市庁舎)</p> <ul style="list-style-type: none"> 西瀬コミュニティセンターを、水害時にも避難が可能な場所で、防災まちづくり拠点の機能を持つ施設として整備する。 <p>車での避難場所(駐車場)の確保</p> <p>(案)県振興局、新市庁舎周辺(弓道場や社会福祉協議会付近)、高台の民地等</p> <p>避難所の混雑状況の可視化</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンで避難所の空き状況を確認できるアプリの導入。
【治水・土砂災害対策】	<p>浸水リスクと土砂災害リスクへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 球磨川左岸地区は、球磨川と急傾斜地に挟まれ、球磨川の氾濫以外に、山から支川や農業用水路に流れ込んだ水があふれて浸水する他、土砂災害の危険性もある。 矢黒第二排水樋管周辺など地区内に浸水しやすい地点があり、周辺の低い道路は早い時間帯から通行不能になる。 	<p>避難路確保のための急傾斜地対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難路の安全性を上げるため、急傾斜地対策を行う。 <p>治水+排水対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢黒第二排水樋管や矢黒町内の排水機能の強化。(改善できれば、周辺の道路を通行できる時間が長くなる) 	<p>支流の堤防や護岸被害の復旧 ※令和3年度中に工事発注予定</p> <p>急傾斜地対策</p> <p>矢黒町の排水機能の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢黒町内の排水路や矢黒第二排水樋管等を改善し、排水機能を強化する。

球磨川左岸地区 復興まちづくり計画(案)【方針・取組み】

資料4

復興まちづくりの目標：『地域を見つめ直し、住民・地域・関係機関が相互に様々なコミュニケーションを通して災害に強いまちづくりを行う』

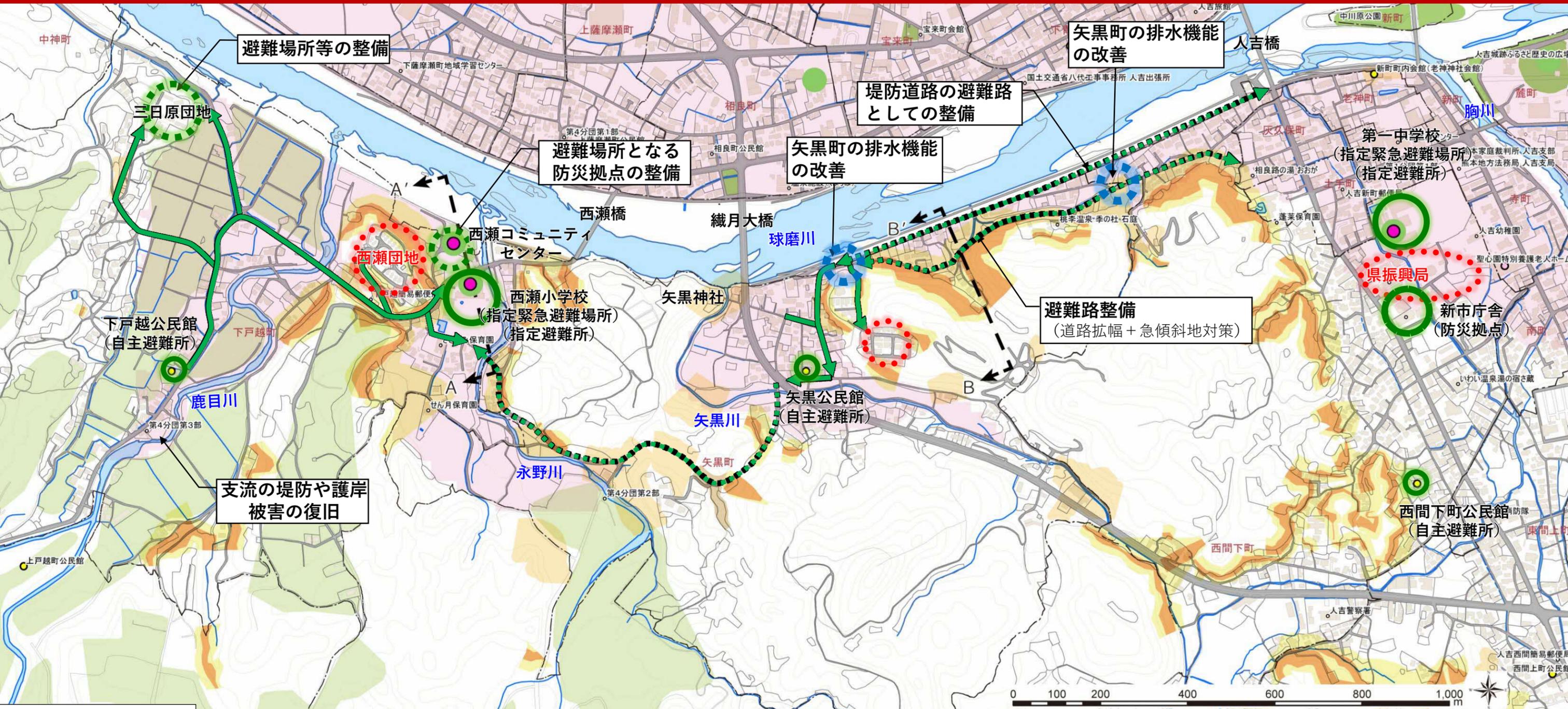
取組みの柱	地区の主な課題 (地区の復興まちづくりに向けた主な課題)	取組み方針 (課題解決のための取組み方針)	具体の取組み(案) ※実現化に向け、今後検討が必要
①被災者のくらし再建と コミュニティの再生	<input type="checkbox"/> 各戸の安全性の向上	<input type="checkbox"/> 安全性を高める建て方の誘導	<input type="checkbox"/> 安全性を高める建て方の誘導(例) ・建物1階のピロティ化、浸水深以上の居室の確保。 ・建物構造の耐水化。・住宅再建に係る各種スキームの説明会の開催。
②災害に負けない まちづくり 【避難対策】	<input type="checkbox"/> 安全な避難ルート確保 ・土砂災害や浸水の危険性がある道路が多く、道幅も狭いため避難路が脆弱。 ・矢黒の集落内の道が低く、早い時間帯に浸水して通行できなくなるため、孤立化しやすい。避難所(西瀬小学校)、自主避難所(矢黒公民館)や避難場所になる高台(ま心周辺)へ行くルートが浸水しやすい。 ・消防団(第4分団第2部)の出動ルートに水が流れ込みやすく、沿道の竹などが倒れ込んだ場合は啓開活動が必要。 <input type="checkbox"/> 近所の避難体制の構築(「近助」) ・消防団や町内会役員には人手もできることも限りがあり、隣近所での助け合いの体制強化が必要。 ・デジタルツールを使えない方への支援体制強化。 ・避難行動要支援者名簿の効果的な活用。	<input type="checkbox"/> 安全な避難路の整備 ・土砂災害の危険区域や浸水しやすい箇所及び避難先(場所、キャパシティ等)、救助活動のしやすさ等を踏まえた避難路の整備を行う。 <input type="checkbox"/> 「早めの避難」の徹底 ・避難できる道や方法がある時間帯の「早めの避難」を徹底する。 <input type="checkbox"/> 災害の危険性を認識するための情報入手手段を整える ・油断を防ぐため、平時から地域の災害リスクを知り、降雨時には周辺の状況や避難に関する情報などを入力することができる手段を用意する。 ・情報の入手・共有に当たっては、デジタルツールの活用他、高齢者等への情報共有に配慮する。 <input type="checkbox"/> 避難体制の構築 ・班などの小さな単位で避難する体制づくりや、町内会・自主防災組織・消防団との連絡体制の構築を行う。	<input type="checkbox"/> 地区内の主要な避難路の拡幅整備 <input type="checkbox"/> 堤防道路の避難路としての整備(ガードレールの設置) <input type="checkbox"/> 主要な避難路沿道の土地所有者への管理依頼 <input type="checkbox"/> 流域治水プロジェクトの進捗に合わせたハザードマップ(浸水想定エリア)の作製・公開 <input type="checkbox"/> 地域性を踏まえた防災マップの作成 ・ハザードマップだけでは読み取れない危険性も含めた地域が主体となった防災マップの作成。 ・避難の必要性を判断する地域独自の「小さなきっかけ」等も掲載する。 <input type="checkbox"/> 地域内への実績浸水深の表示 ・昨年の痕跡水位を電柱等に掲示 <input type="checkbox"/> 情報発信機能の強化(避難情報、支流の出水状況など) ・各世帯への防災ラジオの配布(市より、令和3年6月から順次配布)。 ・支流の出水状況をきめ細かくインフォメーションする機能の強化。 →土砂詰まりしやすく、浸水しやすい地点への浸水検知センサの設置(周辺住民へ情報共有できるシステム)。 →胸川上流へのライブカメラの設置。 <input type="checkbox"/> 避難支援体制の具体化 ・要支援者の支援体制の分担と、分担に基づく訓練の実施。 <input type="checkbox"/> 避難支援ツールの配備 (例)防災リヤカー(西間下町) <input type="checkbox"/> 避難訓練 ・実際に起こり得る状況を想定した、効果的な避難訓練の実施。
※次のページへ続く			

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(案)です。具体の取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。

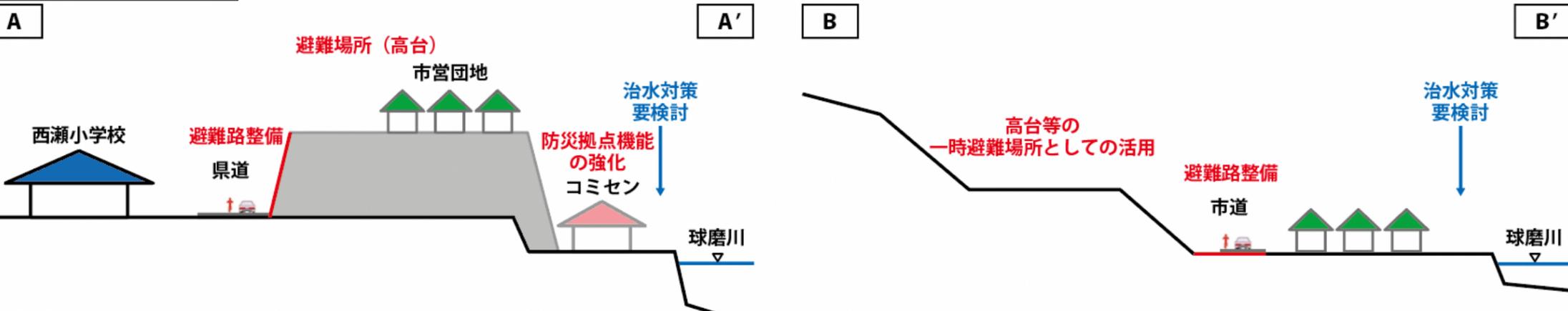
球磨川左岸地区 復興まちづくり計画(案)【方針・取組み】

取組みの柱	地区の主な課題 (地区の復興まちづくりに向けた主な課題)	取組み方針 (課題解決のための取組み方針)	具体の取組み(案) ※実現化に向け、今後検討が必要
<p>②災害に負けないまちづくり 【避難対策】 (避難場所・避難所)</p>	<p>□緊急時に避難ができる場所の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定緊急避難場所まで行けない場合や緊急に避難を要する場合などに、命を守れる避難場所が必要。 避難場所、避難所のキャパシティや移動を踏まえた避難が必要。 <p>□ペットの同行避難への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所へのペットの同行避難の希望について、対応を検討しておく必要がある。 	<p>□複数の避難場所の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定緊急避難場所の他、民間の施設や私有地も含め、水害時の一時避難が可能な避難場所を複数確保する。 <p>□避難所または自主避難所の運営方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ペットの同行避難の他、避難や避難生活に関する地域のニーズに備え、事前の検討を行う。 車での避難ができる場所（駐車場）の確保も必要。 避難先が一箇所に集中しないよう、分散させる工夫も必要。 <p>※避難方法の具体化（時期、ルート、場所、運営面）</p>	<p>□安全な避難場所の確保</p> <p>(案)【西間下町】西間下町公民館、新市庁舎、県振興局 等 【矢黒町】矢黒町公民館、ま心周辺の高台 等 【下戸越町】西瀬団地、市営三日原団地 等 ※避難する時間帯やルート、移動手段等を考慮して判断する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定の避難所以外で垂直避難できそうな施設管理者への相談。 隣接する町同士で連携する避難体制の構築 ペットの同行避難の対応 <p>□避難場所となる防災拠点の整備（西瀬コミセン、新市庁舎）</p> <ul style="list-style-type: none"> 西瀬コミュニティセンターを、水害時にも避難が可能な場所で、防災まちづくり拠点の機能を持つ施設として整備する。 <p>□車での避難場所（駐車場）の確保</p> <p>(案)県振興局、新市庁舎周辺（弓道場や社会福祉協議会付近）、高台の民地 等</p> <p>□避難所の混雑状況の可視化</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンで避難所の空き状況を確認できるアプリの導入。
<p>【治水・土砂災害対策】</p>	<p>□浸水リスクと土砂災害リスクへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 球磨川左岸地区は、球磨川と急傾斜地に挟まれ、球磨川の氾濫以外に、山から支川や農業用水路に流れ込んだ水があふれて浸水する他、土砂災害の危険性もある。 矢黒第二排水樋管周辺など地区内に浸水しやすい地点があり、周辺の低い道路は早い時間帯から通行不能になる。 	<p>□避難路確保のための急傾斜地対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難路の安全性を上げるため、急傾斜地対策を行う。 <p>□治水+排水対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢黒第二排水樋管や矢黒町内の排水機能の強化。（改善できれば、周辺の道路を通行できる時間が長くなる） 	<p>□支流の堤防や護岸被害の復旧 ※令和3年度中に工事発注予定</p> <p>□急傾斜地対策</p> <p>□矢黒町の排水機能の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢黒町内の排水路や矢黒第二排水樋管等を改善し、排水機能を強化する。

球磨川左岸地区 復興まちづくり計画(案)【広域図・避難ルート図】



断面イメージ図



- | | |
|--|--|
| <p>計画(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> → 避難路 → 避難路※ ○ 避難場所、避難所 ○ 避難場所、避難所※ ● 安全な避難場所 ● ※要整備 <p>避難場所・避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指定緊急避難場所 ● 指定避難所 ● 自主避難所 ○ 福祉避難所 | <p>土砂災害の危険区域</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン) ■ 土砂災害警戒区域(イエローゾーン) ■ 地すべり調査予定 ■ 急傾斜地調査予定 ■ 土石流調査予定 <p>浸水想定区域</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 想定最大規模(L2) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 農用地区域 |
|--|--|

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくりのイメージ(案)です。具体的取組み内容は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。

球磨川左岸地区 復興まちづくり計画(案)【地区整備方針図】 ①西瀬小学校周辺



※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくりのイメージ(案)です。具体的取り組み内容は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。

球磨川左岸地区 復興まちづくり計画(案)【地区整備方針図】②矢黒町周辺



※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくりのイメージ(案)です。具体的取組み内容は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。